

かがやく北山っ子



～自ら学び、人との関わりを大切にして、未来を切り拓く子～
富士宮市立北山小学校 学校だより 第10号 令和5年2月1日発行

SDGsを自分事に

校長 山口 佳之

◇先日、家族3人で米がおいしいと評判のレストランに入ってみることにしました。値段が我が家にとってはかなりの贅沢価格であることは知っていましたので、子供2人が不在だったタイミングに思い切って入店しました。席に着くと、早速こだわりのおいしい水が出てきて、舌を潤していると、今度は「おなかを温めてお料理をお待ち下さい。」と小さい湯呑みに入った出汁が出てきました。「へえー」と、おもてなしに感激していたのもつかの間、1つの湯呑みの飲み口に5mm四方の黄ばんだ紙片のような物体がへばりついているのに気が付きました。汚れだったら嫌だなあと、爪でかじってみましたが取れません。店員さんと呼んで、ちょっと顔をしかめて「これって、汚れ？こういうもの？」と尋ねてみました。すると予想に反して「はい、そういうものなんです。」ときっぱり返ってきました。「こういうものなの？」と納得できなそうにしていると、「『金継ぎ』と言います。」と毅然とした口調で教えてくれました。そして、長女が手元の献立カードに「金継ぎ」のことが書いてあることに気が付きました。飲食店の食器なのに、欠けても捨てないSDGsに感動しました。

「^{きんぎ}金継ぎ」 ※献立カードより
器を大切に扱う心
私たちのSDGs
どんなに丁寧に器を扱っていても、使っているうちに欠けることがあります。そこで、漆を使って修復する伝統的な「金継ぎ」という技法を使って、欠けた器を自分たちでお直すことにしました。

◇そういえば、私が見学した製紙会社の子会社では、世の中で処分困っている廃プラスチックと再生紙にできない紙ゴミを合わせて新しい固形燃料をつくっていました。この燃料を燃やすことで、二酸化炭素の排出量を3分の1に減らしているそうです。「我が社のSDGs」と胸を張って取り組んでおられたことを思い出しました。

◇SDGsとは、世界中の誰一人として取り残さないように、国連が定めた達成すべき17の持続可能な開発目標です。(下表参照) 2015年から2030年までの15年間で達成させることになっています。スーパー袋のゴミを減らすために、マイバッグを利用するようになったのもその一つの取組です。最近では、脱炭素社会に向けて電気自動車も増えてきています。

◇1月28日土曜日、富士山学習発表会が各学校の代表発表者を集めて行われました。本校は、4年生の代表者6名が、6年生の企画委員1名と上野中学校会場の発表会に参加しました。4年生の発表テーマは、「北山用水」です。最初に、北山用水と徳川家康の関係を紹介し、用水をつくった先人の活躍に思いを馳せました。その由緒ある北山用水がゴミや油で汚れている様子から、「6 安全な水とトイレを世界中に」と「14 海の豊かさを守ろう」というSDGsにつなげて発表しました。さらに、「7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに」という観点で、北山用水で小水力発電に取り組んでいることを誇らしく発表していました。地域の自慢を立派に紹介できました。

◇12月には、美化リサイクル委員会が取り組んでいるアルミ缶回収の収益金から2万円をユニセフのウクライナ支援に募金しました。さらに、家にあるいらなくなったぬいぐるみや服を集めて、アジアの困っている子供たちに寄附する活動も行いました。これは、「10 人や国の不平等をなくそう」と「16 平和と公正をすべての人に」の目標に向けた活動になりました。保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

◇これからも、北山小はSDGsを意識して、地球の仲間のために小さな一歩を刻んでいきます。

1	貧困をなくそう	10	人や国の不平等をなくそう
2	飢餓をゼロに	11	住み続けられるまちづくりを
3	すべての人に健康と福祉を	12	つくる責任 つかう責任
4	質の高い教育をみんなに	13	気候変動に具体的な対策を
5	ジェンダー平等を実現しよう	14	海の豊かさを守ろう
6	安全な水とトイレを世界中に	15	陸の豊かさを守ろう
7	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	16	平和と公正をすべての人に
8	働きがいも 経済成長も	17	パートナーシップで目標を達成しよう
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		